

# 中学校 第1学年 社会科（歴史）学習指導案

山梨県富士川町立富士川中学校  
教諭 佐野 真也

## 単元名

第4章 1節 結びつく世界との出会い（4時間）

## 単元のねらい

- アジア地域へのヨーロッパ諸国の進出に伴い、世界的な交易の広がりが生み出されたことを背景として、日本とヨーロッパ諸国との接触が起こったことに着目する。その国際的な関係の変化を、多角的に考察する態度を養う。
- 新航路の開拓や宗教改革といった国際情勢を関連づけながら、鉄砲やキリスト教の伝来、南蛮貿易の展開に着目する。これらの対外的な接触が、日本の社会にどのような影響を及ぼしたかを多角的に考察し、表現する力を養う。
- 中世のヨーロッパでルネサンスや宗教改革の動きが起こった背景と理由について、都市の繁栄やカトリック教会の教義などと関わらせて考える。
- ルネサンスや宗教革命の動きについて、ヨーロッパ諸国との世界進出や日本へのキリスト教伝来との関わりについて理解する。

## 指導時期

2月中旬～2月下旬

## 指導者用デジタル教科書（教材）活用の意図・目的

本単元ではヨーロッパ諸国がアジアに進出し、交易を活発に行う流れの中で、日本社会が影響を受け、日本の近世社会の形成が加速していく流れを扱っている。本単元の難しさは、小学校で学習した「ザビエル」がなぜ日本の近世に現れたのかを捉える上で、ヨーロッパ社会の変化と繋げて日本社会の変化を理解するという、視点の空間的な広がりがあることだ。視点が増えると、扱う資料の数も必然的に増加する。指導者用デジタル教科書（教材）を使用することで、スムーズな資料提示と拡大表示による詳細な資料読解が期待できる。

（本単元は、逆向きにp.105から98に向かって、授業を行う。）

## 本時（第3時、p.100-101）の展開

	活動内容	デジタル教科書・教材の活用
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「指導者用デジタル教科書（教材）」の初期画面を開いてコンテンツを起動する。</li> </ul>	

	活動内容	デジタル教科書・教材の活用
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>●前時の振り返りを行う。 T：「ザビエル」が日本に来航した目的は何だったか確認しよう。 S：キリスト教の布教。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●出てこないようであれば、p.104_本文2を本文拡大し、確認する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>キリスト教の 伝来</p> <p>1549年には、イエズス会の宣教師 <b>フランシスコ=ザビエル</b> が鹿児島に上陸し、日本にキリスト教を伝えました。ザビエルは、山口や府内(大分県)などを訪れ、熱心に布教活動を行いました。その後も、イエズス会の宣教師が次々と貿易船で来航し、大名の許可を得て、その領内で布教を続けました。宣教師たちは、教会だけでなく、民衆のために学校や病院、孤児院などを建てたこともあって、西日本を中心にキリスト教の信者(キリスト教徒)が急速に増えました。</p> <p>また、戦国大名の中にも、貿易の利益を期待して、信者になる者が現れました(キリスト教徒大名)。その一人である九州の <b>土村氏</b></p> </div>
展開	<p style="text-align: center;"><b>本時の課題 ザビエルが日本に来航した背景は何か</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●p.101「歴史の技」内の動画「絵・風刺画を読み解こう」を視聴する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 10px; margin-top: 10px;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>●p.101資料6「免罪符(贖宥状)の販売の様子」をピンチアウトして表示する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 10px; margin-top: 10px;">  </div>

	活動内容	デジタル教科書・教材の活用
展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>p.100_本文1の記述「カトリック教会の考え方 にとらわれない」に注目する。</li> </ul> <p><b>T</b> : もう一つ、カトリック教会の考え方とは違う動き（流れ）が生まれているね。このような動きをルネサンスといいます。ルネサンスとは何か、p.100資料1「中世の三美神」と資料2「ボッティチエリの「春」」を比較して、グループで考えてみよう。</p> <p><b>S</b> : リアルに描かれている。</p> <p><b>S</b> : 肌が見えるように描かれている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>p.100_本文1をピンチアウトして表示する。</li> </ul> <p><b>ルネサンス</b></p> <p>14世紀ごろ、ビザンツ帝国やイスラム世界との貿易で栄えたイタリアの都市では、神を中心とするカトリック教会の考え方 にとらわれない、人間らしい個性や自由を求める新しい文化がおこりました。この動きは、古代のギリシャやローマの文化を模範として復興させようとしたことから、ルネサンス（文芸復興）とよばれ、16世紀にかけてヨーロッパ各地に広りました。</p> <p>ルネサンスは、レオナルド・ダ・ビンチやミケランジェロに代表される芸術家を多く生み出したほか、科学技術の発達にも大きな影響を与えました。それは、実験や観察によって現実の世界をとらえようとする考え方が強まったからです。特に天文学では、教会の支持する天動説に対して、コペルニクスやガリレイらが地動説を唱えるようになりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>p.100資料1「中世の三美神」と資料2「ボッティチエリの「春」」を並べて、ピンチアウトして表示する。</li> </ul>  <p>● 動画「ルネサンスの文化」を視聴する。</p> 
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>ルネサンスという事象について確認をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「表現！」に自身の考えを記入し、内容をクラスで共有する。</li> </ul> <div data-bbox="849 1740 1484 2133"> <p><b>表現!</b> ルネサンスや宗教改革は、それぞれ何を目ざしていたか説明しよう。</p> <p>自由入力（最大文字数300文字）</p> <p>ヒントを表示</p> </div>

## 指導者用デジタル教科書（教材）を活用したことで得られた効果

本時の展開では多くの資料を提示することになるが、学習者用デジタル教科書＋デジタル教材によって生徒が資料を探す時間を短縮でき、また焦点化した資料提示によって生徒の資料を読み取る時間を短縮することができた。これにより、グループでの話し合いの時間を十分に確保することができ、単なる資料の読み取りにとどまらず、資料に基づき自らの考えを構築、発展させる「考察する活動」まで発展するグループも見受けられた。

動画資料は3分程度にまとめられており、生徒が思考する活動を行ったあとの知識の整理や確認にも活用しやすかった。

最も指導者用デジタル教科書（教材）の効果を感じたのが、ページをまたぐ資料を提示する時である。既習事項を確認する時に、事前にタブとして準備しておくことで生徒が思い出せないような内容も教科書の記述をもとに確認することができた。資料提示が多い学習場面において、指導者用デジタル教科書（教材）は積極的に活用できると考える。